

全国小学生選抜サッカー2025 IN HYOGO 大会要項



- | | | | |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1 | 日 | 時 | 2025年2月8日(土)・9日(日) |
| 2 | 会 | 場 | 三木総合防災公園第1球技場 |
| 3 | 主 | 催 | 一般社団法人兵庫県サッカー協会 |
| 4 | 主 | 管 | 一般社団法人兵庫県サッカー協会 第4種委員会 |
| 5 | 開 | 催 | 株式会社モルテン/株式会社共同写真企画/一般社団法人 神戸市サッカー協会 |
| 6 | 開 | 催 | 協 |
| 6 | 参 | 加 | 資 |
| 6 | 格 | | |

- 2026年5月3日～5日(予定)に日産スタジアム(横浜国際総合競技場)で開催される「JFA全農杯全国小学生選抜サッカー大会」に、6年生以下の登録選手で参加可能なチーム。
- 大会参加チーム数は、合計16チームとし、エントリーの内訳は、次のとおりとする。
各都市協会の代表13チームと、前回優勝および準優勝地区ならびに開催協力地区に1チーム追加エントリーすることが出来るものとする。(今回は神戸2・西宮1)

7 競技規定

(公財)日本サッカー協会競技規則「JFA8人制サッカー競技規則」による。

但し、以下の項目については大会規定を定める。

- 試合時間 : 36分(12分×3ピリオド)
- インターバル(ピリオド間) : 第1ピリオドと第2ピリオドは選手交代に要する時間のみ(おおよそ1分)とし、第2ピリオドと第3ピリオド間は5分とする。
- エンドの決定 : 第2ピリオド後もエンドを替え、約半分が経過したところでサイドチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
- 選手の交代方法
競技者の数は、常に8人(うち1人はGK)とする。
同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオドすべてに出場することは出来ない。
 - 第1ピリオドと第2ピリオドの交代
 - 第1ピリオドの競技者は、第2ピリオドに出場出来ない。
 - 事故、ケガ等で出場困難な競技者または退場者が発生した時には、その交代要員(1人または2人)から出場することとし、その交代要員の人数を超えた場合と、第2ピリオドに出場していない選手全てがすでに第1ピリオドの競技者だった場合のみ、両ピリオドに出場すること認める。
 - ※ピリオド内では交代して退いた競技者が再び出場することは出来ない。
 - 第3ピリオド
 - 事故、ケガ等で出場困難な競技者または退場者が発生した時の交代を含め、第1、第2ピリオドの両方に出場した競技者が再び出場することは出来ない。
 - ※ピリオド内では交代して退いた競技者が再び出場することが出来る。
- 試合
 - 3回戦までは、ノックアウトステージ方式とする。
同点の場合はPK戦(3人)で決定する。
 - ベスト4より決勝リーグとする。
同点の場合はPK戦(3人)で決定する。
 - 決勝リーグの順位は以下のア)からオ)の順序で決定する。
ア)勝点 試合勝3 PK勝2 PK負1 試合負0 イ)得失点差 ウ)総得点
エ)当該チームの対戦成績 オ)抽選
 - PK戦は、試合終了時の8人の中から3人を選出し、PK戦を行う。
- 登録
 - 登録出来る選手は25名以内とし、5年生以下とする。
 - 大会当日、前試合の第2P開始(第1試合は開始30分前)までに選手エントリー表の提出を行う。
選手エントリー表提出の際は、第1・第2ピリオドに出場する選手を決定の上提出すること。
試合前、審判による用具チェック時に、選手が16名未満の時は得点を0対3として敗戦したものとみなす。
 - 2試合目以降は審判による用具チェック時または試合中の怪我等により選手が12名に満たなくなった場合も同様に敗戦したものとする。
 - 選手証の確認出来ない選手はベンチ入り出来ない。
- 反則退場
 - 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することが出来る。
 - 同一大会中警告は累積し、累積警告が2回になった選手および同一試合で2回の警告により退場になった選手は、同一大会の次の試合に出場出来ない。
 - 試合中退場処分を受けた選手は、自動的に同一大会の次の試合の出場を停止する。
 - その他不祥事により協会の名を汚した場合は、県協会規律フェアプレー委員会で処分を決定する。

8) ユニフォーム

- ① ユニフォームは、(公財)日本サッカー協会の当該年度制定ユニフォーム規程に準ずる。
- ② ユニフォームは、GKを含む出場選手全員が必ず統一された色違いを2セット(シャツ・パンツ・ソックスで1セット)用意すると共に、背番号は今大会期間中統一した番号を使用すること。
- ③ 試合当日、2組のユニフォームを用意していないチームは棄権とする。
- ④ 兵庫県大会では、ユニフォームへの広告掲載は日本協会が認めた者に限る。
- ⑤ GK用ユニフォームが無いFPが緊急事態で急ぎGKをする場合は、審判の判断でFP用で試合に着用していないユニフォーム、または退場するGKのユニフォームを着用して出場することが出来る。なお緊急事態とは、大会当日の試合中における負傷退場等による場合とする。
- ⑥ 試合のユニフォームの色については、大会本部で決定する。
- ⑦ 試合中、待機選手はビブス等を着用し、出場選手と紛らわしくない服装をすること。
- ⑧ 問題が生じた場合、審判員と大会本部で協議し決定する。

9) ベンチ

ベンチ入り人数は、選手登録表に登録された選手のうち16名以上18名以内とし、登録されたチーム役員のうち2名以上3名以内(うち1名は日本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること)とする。また、ピッチと観覧席が分離された場合ではピッチにも適用する。

10) その他

この要項に無い事項が発生した場合は、「大会運営共通事項」によるものとする。それでも解決しない場合は、4種委員会の協議によって決定する。

8 表彰

- 1) 優勝・準優勝・3位チームには、トロフィーを授与する。
- 2) 優勝・準優勝・3位・4位チームには、賞状を授与する。
- 3) 上位2チームには、JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN関西の出場資格を与える。
- 4) 関西大会に出場できる選手は、県大会エントリー時に当該チームで日本協会に登録ある者。

9 肖像権の取扱い

大会に参加する競技者・その保護者(親権者)・チーム役員・審判員その他関係者の肖像権の取扱いに関し、以下の通り取り扱われるものとする。

- 1) 大会で撮影した写真・動画が、大会運営・広報活動および販促活動のため、広報誌およびインターネット等で使用されることがある。
- 2) 兵庫県サッカー協会に承認された企業・団体および報道機関等によって撮影された写真が新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。
- 3) 兵庫県サッカー協会に承認された企業・団体および報道機関等によって撮影された動画が中継・録画放送および関連インターネットによって配信されることがある。また、記録された動画が販売・配布されることがある。
- 4) 兵庫県サッカー協会に承認された提携写真業者によって撮影された写真「参加者向け写真販売サービス(Webサイトを通じた通信販売を含む)」が、使用されることがある。
- 5) 競技者・その保護者(親権者)・チーム役員は、チームが参加申込のエントリーした時点で、肖像権の取扱いについて承諾したものとし、一切の対価を請求しない。
- 6) 審判員・大会役員・競技役員その他大会関係者は肖像権の取扱いについて承諾したものとし、一切の対価を請求しない。

10 大会の撮影

- 1) 本大会において、主催者の許可を得た場合のみ、ピッチ内での撮影を許可する。
- 2) ピッチ外での撮影に関して主催者は一切関与いたしません。
- 3) 電子通信機器に付帯しているものによるものも含めて、テクニカルエリア内(ベンチを含む)においては、いかなる撮影(写真、ビデオ)も認められない。

11 大会問合せ

出場チーム代表から、地区4種委員長へ問合せてください。

全国小学生選抜サッカー2025 IN HYOGO 大会運営共通事項



1 参加資格

- 1) 日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームで登録選手はそのチームに所属する選手であること。ベンチ入りするチーム役員のうち1名以上が日本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- 2) 県下13地区の代表チームであること。
- 3) 選手は、必ずスポーツ傷害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること。

2 競技規定

- 1) ルール 日本サッカー協会競技規則(8人制)で、本年度4月1日現在で伝達された内容とし、1人審判制とする。
- 2) ピッチ タッチライン60~80m・ゴールライン40~50mを基本とするが、タッチライン68m・ゴールライン50mが望ましい。ゴールの大きさは、少年用(内径で高215cm幅500cm)とする。
- 3) 試合人数 8人制とする。
- 4) 試合球 日本サッカー協会公認4号ボールとする。
- 5) 登録 ① 選手登録人数は、8名以上25名以下とする。
② 移籍入団選手が移籍前の地区予選に選手登録していた場合、移籍入団先で同大会(兵庫県本大会含む)に出場することは出来ない。その大会が関西大会・全国大会に繋がっている場合は同様とする。
③ 抽選会までに行なうチーム登録・選手エントリー表の提出をもって登録とする。以後の変更は、追加・移籍であっても認めないので、事前の登録を済ませること。
④ 大会当日、指定された時間までに、選手エントリー表の提出を行う。
- 6) 選手交代 ① 自由な交代とし、登録選手の中から補助審判への申告後に、交代ゾーンでまず交代選手が退場した後に次の選手が入場出来る。(全国小学生選抜サッカーは大会要項による)
- 7) ユニフォーム 新調する場合には黒系統を避けること。

3 雨天および雷雨時

- 1) 雨天決行。但し、天災、警報等(開催地での気象など)で開催が危ぶまれる場合は、県4種委員会で協議し決定する。
- 2) 大会中急な天候の変化による落雷等の危険性が高まった時は、直ちにその試合を停止し平穩になってから再開(リスタート)する。再開方法は、「雷等による中断再開規定(兵庫県4種大会)2023改定版」の通りとする。
- 3) 日本サッカー協会の指導と共に、選手に受ける身の危険を回避するために雷の発生時には、試合を速やかに停止し、選手だけでなく観戦者を含む関係者全員が退避するように促すこと。
- 4) 試合の再開は、当該試合の残り時間を行うこととする。当日に再開できない場合であっても、当日に再開する場合と同様とする。そのため、選手変更、ユニフォーム変更は原則認めない。
- 5) 審判員は、必ず事項を記録し、事後の再開に支障が出ないようにする。

4 抽選会

- 1) 選手登録表提出時に当該チームでの選手証を確認出来る事が条件である。また、抽選会で電子選手証が提示できない場合は、出場できない。
- 2) 組合せ抽選会を大会2週間前日処に行う。場所は、開催地協会が決定する。
- 3) 大会参加費は、抽選会までに県協会に納付し、納付確認が出来るものを抽選会時に持参すること。
- 4) 予選リーグ戦においては、同一都市協会の第2代表までのチームは同一グループに入らない。
- 5) ノックアウトステージ戦においては、同一都市協会の第2代表チームは2回戦までの対戦は行わない。

5 試合

- 1) 飲水タイムの時は、選手がピッチを出たり、指導者がピッチに入ったり指示を与える事は出来ない。
- 2) 試合中の指示は、指示できる場所、人数、言動などを十分に注意すること。補助審から注意を受けた場合は、素直に従うこと。目に余る場合は退席処分とし、事後大会本部から該当チーム役員および所属地区4種委員長に厳重注意をするとともに同大会次の1試合はベンチ入りできないものとする。

6 規律フェアプレー

- 1) 大会参加選手および指導者は、競技規定を遵守し、JFAサッカー行動規範に則り大会に臨むこと。
- 2) 選手・指導者は、相手選手のみならず自軍選手に対してもリスペクトの精神と態度で臨むこと。
- 3) 応援者(含、保護者)は、少年スポーツであることをわきまえ、その言動には十分注意すること。

7 疾病予防

- 1) 選手は、予め医師の診断を受け、異常の無いことを確認したうえで参加出場すること。
- 2) 選手・指導者は、身体に異常を感じた場合、参加出場することの無いようにすること。
- 3) 負傷した時の処理は、協会は一切責任を追わないので当該チームが責任を持って行うこと。

8 大会運営

- 1) 開会式は行わない。但し、地区から事前に開催要請があった場合は、県4種委員会で協議し決定する。
- 2) 審判員は、試合後審判報告書を作成し本部に提出をすること。また、退場者が出るなど問題が生じた場合は審判報告書(重要事項)を作成し、必ずその日に対応方法を本部等と協議しておくこと。

9 ユニフォーム(補足)

- 1) ソックステープの色は問わない。
- 2) アンダーシャツの色・デザインはチーム内で同色・同一のものを着用する。
- 3) アンダーショーツおよびタイツの色・デザインはチーム内で同色・同一のものを着用する。
- 4) 試合が引分に終わり大会要項によって定めるペナルティキック方式においてFPがゴールキーパーを行う場合の服装は、そのFPの服装のままペナルティキック方式のGKを行っても良い。

10 テクニカルエリア内で電子通信機器を使用しての撮影(写真やビデオ)について

- 1) 電子通信機器に付帯しているものによるものも含めてテクニカルエリア内(ベンチを含む)においては、いかなる撮影(写真、ビデオ)も認められない。

11 その他

- 1) 選手登録・エントリー表の提出は、必ず地区4種委員長がユニフォーム色・選手登録の有無などを確認して、開催地4種委員長等にデータで送付すること。(できれば、地区4種委員長が送付されたい。)
- 2) 出場選手の本部への挨拶は、指導者のみとする。試合時等のあいさつも、選手・監督等に関わらず握手をもつて行う。
- 3) 大会運営中に起きた事柄を県協会・主管協会に申し出をせず、個々の主観により勝手な判断した内容を文章やインターネットを通じて他の者に対して誹謗や批判をする行為をした者は、県4種委員会及び県規律フェアプレー委員会により厳罰に処する。
- 4) 関西大会に出場するチームは、県大会(予選)時に選手登録をしていた自チーム選手の中からエントリーすること。県大会後の移籍による出場は、関西大会では認められないことに注意すること。
尚、同一クラブ複数エントリーチームの何れかが関西大会への出場権を得た場合、関西大会での同一クラブ内合併チームを認める。但し、県大会での合併は認めない。
又、各都市協会の予選大会での複数エントリー可否については、各都市協会に一任することとする。
全国小学生選抜サッカーin関西大会では、3ピリオッド制のため最低16人登録が必要なため登録人数が不足する場合は出場できないものとする。
- 5) テクニカルエリア内(ベンチ含む)への傘の持ち込みを禁止とする。尚、会場のルールを優先とするが、ターフテントの持ち込みは可能とする。